

令和3年度(2021年度) 学生募集要項 《学校推薦型選抜》

出願期間 令和2年11月 2日(月)～11月10日(火)
選抜期日 令和2年11月21日(土)・22日(日)

新型コロナウイルス感染症の状況によって、入学者選抜要項・学生募集要項の公表後や出願期間後であっても、やむを得ず、出願条件、選抜方法、入試日程等を変更する場合があります。変更する場合には、本学ホームページでお知らせします。

本学ホームページ <https://www.fpu.ac.jp/>



福井県立大学
Fukui Prefectural University

目 次

新型コロナウイルス感染症への対応（予告）	1
入学者受入方針	2
I 入学者選抜要項	
1 募集人員	8
2 出願資格	8
3 推薦人数	13
4 選抜方法	14
5 配点	15
6 出願手続	15
7 合格発表	18
8 成績の開示	18
9 その他の注意事項	19
II 入学手続、初年度納付金等	
1 入学手続	20
2 初年度納付金	21
3 その他	21
III 出願書類記入要領	23
IV 個人情報の取扱いについて	27

■添付書類（以下の各書類が同封されていることを確認してください。）

- | | |
|-------|----------------------------|
| A票 | 志願票（原票） |
| B票 | 志願票（電算処理票） |
| C票～D票 | 写真票、受験票 |
| E票 | 振込依頼書・振込受取書・検定料振込受付証明書（三連） |
| F票 | 推薦書 |
| G票 | 自己推薦書 |
| H票 | 出願用封筒 |
| I票～J票 | 住民票記載事項証明願（書） |

新型コロナウイルス感染症への対応（予告）

本学では、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、入学者選抜要項および学生募集要項の公表後や出願期間後であっても、やむを得ず、**出願条件、選抜方法、入試日程等を変更する場合があります**。この場合は、本学ホームページに速やかに内容を掲載します。

【学校推薦型選抜において現時点で想定している措置】

- ・福井県内の新型コロナウイルス感染症の状況により、面接、小論文等の試験日を延期し、再試験を実施する場合があります。
- ・延期の判断は、試験実施日の概ね1週間前、試験実施日の2日前の2段階で行い、その結果を本学ホームページで公表する。ただし、本学の教職員が新型コロナウイルスに感染し、試験の実施が困難になった場合等は、前日や当日に中止の判断を行うこともある。
- ・試験実施日を延期しても、対面での試験が困難な場合は、オンラインでの面接に切り替え、面接中に学力を図る質問（口頭試問）をする。
- ・オンラインでの面接に切り替える場合は、本学ホームページで公表する。
- ・新型コロナウイルスに罹患し医師から治癒したと診断されていない者、保健所等から濃厚接触者に該当するとされた者を対象とするオンラインでの追試験を実施する。

（再試験、追試験の予定）

	日程（予定）	想定している措置（案）
1 再試験	12月 5日（土） 6日（日）	11月21日・22日の試験を延期した場合に実施する。 試験会場で小論文、面接等を実施する。 ただし、対面での試験が困難な場合、オンラインでの面接と口頭試問に切り替えて実施する。
2 追試験	12月 5日（土） 6日（日）	11月21日・22日に受験できなかった者を対象とする。 オンラインでの面接と口頭試問を実施する。
3 1の追試験	12月26日（土） 27日（日）	再試験を受験できなかった者を対象とする。 オンラインでの面接と口頭試問を実施する。

【受験生の皆様へお願い】

- ・**オンラインでの面接になる場合がある**ので、インターネット環境を整えてください（自宅でインターネット環境を整備するのが難しい場合は、在籍する学校で受験できないか相談してください）。
- ・新型コロナウイルスに罹患し、試験当日までに**医師から治癒したと診断されていない場合**や、試験直前に保健所等から**濃厚接触者に該当するとされた場合には、受験できません**。
- ・試験の前2週間程度の間発熱・咳等の症状があり、または**試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合は、追試験の受験を検討し**本学に申し出てください。
- ・試験当日は、試験室の換気のため窓の開放を行う時間帯がありますので、上着など温かい服装を持参してください。
- ・試験に関する事項を変更する場合は、本学ホームページにて速やかに公表しますので、必ず確認してください。

入 学 者 受 入 方 針

【大学の理念・目的】

福井県立大学は、時代の発展に即応した学術文化の高度化を推進する拠点として、真理探究の精神、広い視野と豊かな創造力、高度で専門的な知識・技術を有する有為な人材を養成するとともに、先進的な科学の研究および技術の開発を行い、学術情報を地域社会へ開放することにより、福井県はもとより、わが国の産業と文化の発展に寄与することを目的とし、もって人類の永続的福祉の向上に貢献することを使命としています。この使命を達成するために、次の三つの基本理念を掲げています。

- ① 新しい時代にふさわしい魅力ある大学
- ② 特色ある教育・研究を行う個性ある大学
- ③ 地域社会と連携した開かれた大学

【教育目標】

- ① 学問への関心を引き出すとともに、全人的教養を身につけ、自立した個人として成長できる能力を養う。
- ② 科学の飛躍的発展に対応できる高度な知識や技術とともに、専門職にふさわしい態度を身につけ、社会のニーズに対応できる能力を養う。
- ③ 少人数教育の特色を活かし、思考力・判断力・表現力・創造力・コミュニケーション力などを併せ持った総合的人間力を身につけ、社会・個人との豊かな関わりを持つことができる能力を養う。
- ④ 国際化、情報化、少子高齢化などの時代の変化を踏まえ、生命と環境、経済・社会、医療福祉の問題など新たな課題に取り組む能力を養う。
- ⑤ 自ら学問を探究する態度を身につけ、個性ある研究が行える能力を養う。
- ⑥ 地域社会との連携を深め、地域住民と協働した社会づくりに貢献できる態度を養う。

経済学部

【理念・目的】

経済学部は、多様化し変動著しい現代経済社会および企業経営の在り方や法則、地域経済・企業や各国経済の特質を明らかにし、あるべき経済政策および経営を追求する研究を推し進め、経済・経営に関する専門的な知識を有し、情報活用能力・国際的感覚を持った人材を養成するとともに、研究成果を地域社会へ開放することを目的とします。

特に教育については次のことに心がけて行います。

- ① 研究に基づいて教育の水準を高く維持すること。
- ② 教員自身が研究に打ち込む姿を学生に見せるとともに、その成果を学生に伝えるように努めること。
- ③ 学生の知識水準に注意を払い、学生が吸収しやすいよう教授法についても研究を重ねること。
- ④ 多様な学生の需要に応じるため、教員集団の多様性を保ち、学生に自発的な選択の余地を与えるとともに、個々の教員も多様な見方があることを示すよう努めること。

【教育目標】

経済学部は、学生たちに向けて次のような教育目標を掲げます。

- ① 経済の運動や企業の行動についての古今の学説を知り、社会科学についての教養を深め、経済社会の仕組みを知る。
- ② 現実の経済・経営を分析する能力を持ち、政策について判断する力を身につける。
- ③ 自らの頭で考え、自らの進路を切り開くことができる自立した個人に成長する。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

経済学部は、次のいずれかに該当する学力のある学生を求めます。

- ① 高等学校で英語、国語、数学、理科、地理歴史・公民に関して十分な基礎学力を身につけた学生
- ② 社会の仕組みや運動、企業の行動について興味を持ち、それらを知ることに関心のある学生
- ③ 経済学・経営学を学ぶことで、自分で考え自分で判断する力を身につけたいと考えている学生
- ④ 経済学・経営学について専門的知識を身につけ、それを将来就く職業に生かしたいと考えている学生

生物資源学部

【理念・目的】

生物資源学部は、生物資源にかかわる諸領域において以下の教育研究活動を推進することにより、地域社会、日本、世界の産業と文化の発展に寄与し、もって人類の将来にわたる福祉の向上に貢献します。

この使命を達成するために、次の三つの基本理念を掲げます。

- ① 時代の進展に即応した学術文化の高度化の推進と、それに寄与できる人材の育成
- ② 自主的な真理探究の精神、広い視野および豊かな創造力を有し、基礎的および専門的な知識と技術を備えた実践力ある人材の育成
- ③ 学術情報の地域社会への開放

【教育目標】

責任ある社会人として必要な教養と倫理観を身につけるとともに、価値観のゆらぐ現代社会において変化するものとしなないものを見極め、現象の本質に科学的に迫り、生物資源にかかわる諸問題、特に持続可能な社会の構築に関して、最新の専門知識と先端技術を用い適切な対処ができる能力を養います。

生物資源学科

地域社会はもとより世界の人々の将来にわたる幸せのため、社会の多様な場で困難を解決しその真の発展を図れる、意欲・能力・創造性そして寛容さを備えた人材を育成します。そのため、次の教育目標を定めます。

- ① 科学・技術が自然や社会に与える影響を多面的に考え、生物資源の利用に当たって、責任ある方向付けに必要な基礎的素養を身につける。
- ② 生命科学の幅広い理解と応用のための基礎として、数学、自然科学の知識および情報技術を身につける。
- ③ 生物資源の資源採取・加工・利用や自然界の保全に関する専門知識ならびにそれを応用する上で必要な知識を身につける。
- ④ 急速に変化する生命科学とそれにかかわる技術に対応するために必要な情報収集能力を身につけるとともに、自らの考えを論理的に表現し議論するための対話能力と文章作成能力を身につける。
- ⑤ 生命科学に関する技術的な課題を、安全や環境に配慮するなど、限られた条件の下で設計・解決する能力を身につける。また、課題解決に向けて、互いに協力して仕事をする能力を身につける。

創造農学科

「食と農と環境」に関連する広範囲な分野で中心的に活躍するための知識と技術と経験を備えた人材を育成します。そのため、次の教育目標を定めます。

- ① 食用作物、園芸作物、飼料作物、家畜など、多様な農林畜産物に関する農学的知識を身につけ、農業生産に関する広範囲な実践的素養を体得する。
- ② 農林畜産物の生産・利用法・加工・商品開発やマーケティング等の分野における最先端の技術を学び、次世代展開を図るために必要な知識と技術を身につける。

- ③ 食と農と人（文化、芸術、福祉）を取り巻く環境について、地域や日本、世界の状況を知り、特に地域においては、その保全や修復の実践を通して学び、持続可能な環境や地域社会の構築に向けて行動するために必要な知識と技術を身につける。
- ④ 必要な情報収集能力を身につけるとともに、自らの考えを論理的に表現し議論するための対話能力と文章作成能力を身につける。
- ⑤ 技術的な課題を自ら見出し、安全や環境に配慮するなど、限られた条件の下で設計・解決する能力を身につける。また、課題解決に向けて、互いに協力して仕事をする能力を身につける。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

生物資源学部の教育目標に従い、求める学生像や、大学入学までに身につけておくべき教科と科目に関して、次のように定めます。

生物資源学科

微生物から高等動植物まで多様な生物に興味と関心を持ち、分子から生物、さらに生態系にまで及ぶ広範な対象を取り扱う科学分野の勉学に強い意欲を持って取り組むことができる学生、生物資源にかかわる知識と技術をもとに、地域社会、日本、世界の人々の幸せのために将来働く意欲と希望を持った学生を求めます。

生物資源学を大学で学ぶためには、高等学校等において、国語、英語、数学、生物、化学の基礎学力の習得が必要です。

創造農学科

「食と農と環境」に興味と関心を持つとともに、これに関連する様々な体験をしたいという意志があり、将来、関連する分野で活躍しようという意欲と希望を持つ学生を求めます。

創造農学科で学ぶためには、高等学校等における幅広い基礎学力が必要です。さらに、自分の考えを自分の言葉で表現でき、他者と適切にコミュニケーションがとれるよう努力することが重要です。

海洋生物資源学部

【理念・目的】

海洋生物資源学部は、海洋生物資源にかかわる諸領域での教育・研究活動を通じて、時代の進展に即応した学術文化の高度化の推進、自主的な真理探究の精神と広い視野および豊かな創造力を有し専門的な知識と技術を備えた実践力ある人材の育成、および地域社会への学術情報開放の推進を目的としています。これにより、地域社会、日本および環日本海地域はもとより、世界の産業と文化の発展に寄与し、もって人類の将来にわたる福祉の向上に貢献することを目指しています。

【教育目標】

教育目的を達成するために身につけるべき具体的能力を、教育目標として次に掲げます。

- ① 海洋生物資源に関わる技術者として、幅広い視野を持ち、同時に自らの社会的役割を理解して行動する能力
 - ・ 国際的視点および日本海を取り巻く地域的視点から、歴史や文化あるいは経済や社会の課題を多面的に考える。
 - ・ 科学・技術が社会や自然に及ぼす影響、効果および倫理的責任を理解して行動する。
- ② 海洋生物資源にかかわる知識を修得するとともに、それらを応用する能力
 - ・ 海洋生物資源学の基礎となる数学および自然科学を幅広く学び、論理的に思考する。
 - ・ 海洋環境の保全および海洋生物資源の育成と利用にかかわる、基礎的・専門的知識を身につける。
 - ・ 修得した知識を、海洋生物資源の持続的利用に関する問題の解決に応用する。
 - ・ 絶えず発展する海洋生物資源にかかわる科学・技術について、社会の要求と関連付けながら継続的に学修する。
- ③ 海洋生物資源の持続的利用に関する課題を解決するために、計画を作成して実践し、その成果を取りまとめて検証する能力および他者と協働する能力
 - ・ 様々な手段を用いて必要な情報を収集し、得られた情報を解析する。
 - ・ 修得した知識と技術に基づき、与えられた条件の下で問題を解決するために、計画を立案して実践し、その成果をまとめる。
 - ・ 自らの考えを論理的に記述し、口頭で発表するとともに、積極的に議論する。
 - ・ 海洋生物資源に関する国際的課題について、外国語で議論するために必要な基礎的語学力を身につける。
 - ・ 他者と協働して海洋生物資源にかかわる問題を解決するために、自己のなすべき行動と他者のとるべき行動を的確に判断し、相互に意思疎通を図りながら行動する。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

教育目的を達成するため、海洋生物資源学部は次のような学生の入学を求めています。

- ① 海洋環境や海洋生物資源を取り巻く様々な問題に強い関心を持ち、科学・技術を通してその解決に貢献する意欲を有する学生
- ② 海洋生物資源学を学ぶために必要となる理科、数学および英語などの基礎学力を有し、自主的な学習習慣を身につけている学生
- ③ 他者と協力しながら学ぶためのコミュニケーション能力を身につけている学生

看護福祉学部

【理念・目的】

看護福祉学部では、人権尊重と擁護を根幹とするヒューマンケアの理念に基づき、専門的知識・技術の開発にかかわる研究を推進します。さらに、社会情勢の変化に伴う課題への実践的な取り組みを通して、人々の健康的な生活の創造に寄与します。教育においては、個性豊かで創造的な人間性を育むとともに、看護および社会福祉の専門的知識と技術および倫理観に裏付けられた実践力を持って、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。さらに社会およびその時々個人のニーズに応じた高度なサービスを普遍的に提供するために、専門職として自己研鑽を積むことができる人材を養成します。

【教育目標】

看護福祉学部の教育目標は、次のとおりです。

看護学科

- ① 生命の尊厳、人権擁護の立場から人々の健康生活を支援できる能力を育成する。
- ② 人々を全人的に理解するための豊かな感性を育成する。
- ③ 科学に裏付けられた専門的知識と技術を用いて、人々の個別性に応じた看護を主体的に創造できる能力を育成する。
- ④ 保健、医療、福祉との連携・協働を図り、個人および社会のニーズに応じた看護を実践できる能力を育成する。
- ⑤ 自ら探求する態度を身につけ、将来にわたり専門職として看護を発展させていくための研究、教育および管理能力の基礎を育成する。

社会福祉学科

- ① 普遍的な社会福祉の価値観、思想および倫理を重んじ、人間の尊厳重視、人権擁護および社会正義の立場から人々の生活を支援できる人材を育成する。
- ② 人々の生活やその困難を環境との関連から理解し、人々に共感することのできる幅広い知識と豊かな感受性を育む。
- ③ 科学に裏付けられた知識、方法および専門技術を用い、人々の個別のニーズに応じた社会福祉サービスの創造と適用ができる能力を育成する。
- ④ 学際的な多職種連携による実践を通して、個人、家族および社会のニーズに応えられる能力ならびに国際的視野を涵養する。
- ⑤ 講義・演習・実習という三つのプログラムにおいて、専門職を目指して社会福祉を主体的に学び、探究していく姿勢と態度の修得を促す。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

看護学・社会福祉学は人々の健康と生活に直接かかわる学問です。看護福祉学部では、社会の動向や人間に関心を持てる人、他者の考えや独自性を尊重できる人、経験を通して自分自身を振り返ることのできる人、さらに主体的に学修に取り組む熱意のある人の入学を求めます。高等学校においては、人々とのコミュニケーションに必要な国語や英語の基礎学力を高めること、さらに、社会、地域、人々の生活および人の身体やこころの仕組みを理解できるような科目を意識的に学修することを望んでいます。

I 入 学 者 選 抜 要 項

本学は公立大学の役割として、地域社会の持続性を担う人材の育成を目指します。そこで、県内の高等学校等において教育課程を真摯に履修し、その成果が認められ、かつ本学で学びたいという強い意志を持つ学生を受け入れるため、学校長等の推薦を重視した選抜を次のとおり実施します。

1 募 集 人 員

学 部	学 科	入学定員	左のうち学校推薦型選抜募集人員	備 考	
経済学部	経済学科	100名	25名	各学科の学校推薦型選抜募集人員の約半数（*）は、【出身学科を指定する学校推薦型選抜】への出願者を対象とします。 （*経済学科、経営学科はそれぞれ約10名）	
	経営学科	100名	25名		
生物資源学部	生物資源学科	45名	11名		
	創造農学科	25名	7名		
海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	50名	10名		出願資格および推薦人数に制限がありますので、具体的な内容は、本要項Iの2および3を参照してください。
看護福祉学部	看護学科	50名	20名		
	社会福祉学科	30名	8名		
計		400名	106名		

2 出 願 資 格

出願する学部、学科、学校推薦型選抜の区分（出身学科を指定しない学校推薦型選抜、出身学科を指定する学校推薦型選抜、理数科目を重視する学校推薦型選抜）に従い、該当する項の各号すべてに該当する者

（注1）大学入学共通テストを受ける必要はありません。

（注2）本学の総合型選抜に出願した者は学校推薦型選抜に出願できません。

（1）共通事項

- ① 人物、学業成績ともに優秀で、高等学校長が責任をもって推薦できる者
- ② 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者

(2) 経済学部（経済学科、経営学科共通）

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】

- ① 高等学校を令和3年3月卒業見込みの者
(注) 福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が4.0以上の者

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】

- ① 次のいずれかに該当する者
 - ア 専門高等学校または高等学校の職業教育を主とする学科等を令和3年3月卒業見込みの者
 - イ 高等学校の総合学科で職業教育に関する教科・科目を20単位以上修得見込みの者で、令和3年3月卒業見込みのもの(注) 上記アおよびイにおいて、福井県外の専門高等学校または高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が4.0以上の者（高等学校において簿記および財務会計Ⅰの両科目を履修した者にあつては、これらの学習成績の状況を数学の学習成績の状況に代えることができます。）

(3) 生物資源学部（生物資源学科、創造農学科共通）

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】

- ① 高等学校を令和3年3月卒業見込みの者
(注) 福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語、数学および理科の学習成績の状況の平均が4.0以上の者
(注) 理科は、高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）の「物理」「化学」「生物」「理数物理」「理数化学」「理数生物」のうち1科目の評定を用いて算出します。

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】

- ① 次のいずれかに該当する者
 - ア 専門高等学校（商業高等学校を除きます。）または高等学校の職業教育を主とする学科等（商業科を除きます。）を令和3年3月卒業見込みの者
 - イ 高等学校の総合学科で職業教育に関する教科・科目（商業に関する教科・科目を除きます。）を20単位以上修得見込みの者で、令和3年3月卒業見込みのもの(注) 上記アおよびイにおいて、福井県外の専門高等学校または高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語、数学および理科の学習成績の状況の平均が4.0以上の者
(注) 理科は、高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）の「物理」「化学」「生物」のうち1科目の評定または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「科学と人間生活」のうち2科目の評定の平均を用いて算出します。
(上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。)

(4) 海洋生物資源学部海洋生物資源学科

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】

- ① 高等学校を令和3年3月卒業見込みの者
(注) 福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が4.0以上の者
- ③ 高等学校において、高等学校学習指導要領(平成21年文部科学省告示第34号)の「物理」「化学」「生物」「地学」「理数物理」「理数化学」「理数生物」「理数地学」のうち1科目以上を履修している者または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち3科目以上を履修している者

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】

- ① 次のいずれかに該当する者
 - ア 専門高等学校(商業高等学校を除きます。)または高等学校の職業教育を主とする学科等(商業科を除きます。)を令和3年3月卒業見込みの者
 - イ 高等学校の総合学科で職業教育に関する教科・科目(商業に関する教科・科目を除きます。)を20単位以上修得見込みの者で、令和3年3月卒業見込みのもの
 - ウ 福井県外の水産系の高等学校または高等学校の水産系の学科等を令和3年3月卒業見込みの者
(注) 上記アおよびイにおいて、福井県外の専門高等学校または高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が4.0以上の者
- ③ 高等学校において、高等学校学習指導要領(平成21年文部科学省告示第34号)の「物理」「化学」「生物」「地学」のうち1科目以上を履修している者、「科学と人間生活」「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち「科学と人間生活」を含む2科目以上を履修している者または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」のうち3科目以上を履修している者(上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。)

【理数科目を重視する学校推薦型選抜】

- ① 自然科学に強い関心を持ち、《別表》に示す学術大会等において所定の選考基準を満たした者で、高等学校を令和3年3月卒業見込みのもの
- ② 調査書の数学または理科の学習成績の状況が4.0以上の者
- ③ 高等学校において、高等学校学習指導要領(平成21年文部科学省告示第34号)の「物理」「化学」「生物」「地学」「理数物理」「理数化学」「理数生物」「理数地学」のうち1科目以上を履修している者

〈別表〉

学術大会等（主催）	選考基準
ふくい理数グランプリ （福井県教育委員会）	高校生部門本選入賞者
南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞 （福井県教育委員会）	高校生部門入賞者
日本学生科学賞 （株式会社 読売新聞社）	地方審査通過者
高校生科学技術チャレンジ （株式会社 朝日新聞社、株式会社 テレビ朝日）	1次審査通過者
物理チャレンジ （特定非営利活動法人 物理オリンピック日本委員会）	1次チャレンジ通過者
化学グランプリ （公益社団法人日本化学会、「夢・化学-21」委員会）	1次選考通過者
日本生物学オリンピック （国際生物学オリンピック日本委員会）	予選合格者
日本地学オリンピック （特定非営利活動法人 地学オリンピック日本委員会）	予選合格者
日本数学オリンピック （公益財団法人数学オリンピック財団）	A ランク者
日本情報オリンピック （特定非営利活動法人 情報オリンピック日本委員会）	予選合格者

(5) 看護福祉学部看護学科

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】

- ① 高等学校を令和3年3月卒業見込みの者
 （注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語、数学および理科の学習成績の状況の平均が4.0以上の者
 （注）理科は、高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）の「物理」「化学」「生物」「理数物理」「理数化学」「理数生物」のうち1科目の評定または「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「科学と人間生活」のうち2科目の評定の平均を用いて算出します。
 （上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。）

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】

- ① 高等学校の衛生看護科を令和3年3月卒業見込みの者
 （注）福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語、数学および理科の学習成績の状況の平均が4.0以上の者
 （注）理科は、高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「科学と人間生活」のうち2科目の評定の平均を用いて算出します。
 （上記記載の各科目には、それらに相当する専門科目を含みます。）

(6) 看護福祉学部社会福祉学科

【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】

- ① 高等学校を令和3年3月卒業見込みの者
(注) 福井県外の高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が4.0以上の者

【出身学科を指定する学校推薦型選抜】

- ① 次のいずれかに該当する者
 - ア 専門高等学校または高等学校の職業教育を主とする学科等を令和3年3月卒業見込みの者
 - イ 高等学校の総合学科または普通科で職業教育に関する教科・科目を20単位以上修得見込みの者で、令和3年3月卒業見込みのもの(注) 上記アおよびイにおいて、福井県外の専門高等学校または高等学校を卒業見込みの者については、本人または保護者が令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。
- ② 調査書の英語、国語および数学の学習成績の状況の平均が4.0以上の者
- ③ 高等学校において、福祉に関する科目（高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）の教科「福祉」の科目（「福祉情報活用」を除く。）および本学が福祉に関する科目と認める科目）を8単位以上修得見込みの者
(注) 本学が福祉に関する科目と認める科目は、高等学校学習指導要領（平成21年文部科学省告示第34号）の教科「家庭」のうち、「生活と福祉」です。

3 推 薦 人 数

各高等学校から推薦できる人数は、次の表に掲げる推薦人数の範囲内とします。

◇ 【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】 【出身学科を指定する学校推薦型選抜】

高等学校の区分	学 部	学 科	推 薦 人 数	
			出身学科を指定しない 学校推薦型選抜	出身学科を指定する 学校推薦型選抜
①福井県内の 高等学校	経済学部	経済学科	入学定員（注1）が、 ・200名未満の場合2名 ・200名以上の場合3名	制限なし
		経営学科		
	生物資源 学 部	生物資源学科	2名	1名
		創造農学科	1名	
	海洋生物 資源学部	海 洋 生 物 資 源 学 科	2名	制限なし
	看護福祉 学 部	看 護 学 科	2名	
		社会福祉学科	2名	
②福井県外の 高等学校 (注2)	経済学部	経済学科	1名	1名
		経営学科		
	生物資源 学 部	生物資源学科		
		創造農学科		
	海洋生物 資源学部	海 洋 生 物 資 源 学 科		
	看護福祉 学 部	看 護 学 科		
社会福祉学科				
③福井県外の水産系の 高等学校または水産系 の学科を置く高等学校	海洋生物 資源学部	海 洋 生 物 資 源 学 科		1名 (注3)

◇ 【理数科目を重視する学校推薦型選抜】

高等学校の区分	学 部	学 科	推 薦 人 数 (注4)
福井県内の高等学校	海洋生物資源学部	海洋生物資源学科	制限なし
福井県外の高等学校			1名

(注1) 各高等学校の平成30年度の入学定員（職業教育を主とする学科等および総合学科を除く。）

(注2) 福井県外の高等学校から推薦できる者は、本人または保護者が令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有している者に限ります。

(注3) ③の1名は、②の福井県外の高等学校が【出身学科を指定する学校推薦型選抜】に推薦できる人数とは別に、推薦することができます。

(注4) 全学部・全学科の【出身学科を指定しない学校推薦型選抜】【出身学科を指定する学校推薦型選抜】に推薦できる人数とは別に、推薦することができます。

4 選 抜 方 法

入学者の選抜は、小論文および面接の成績ならびに調査書および自己推薦書の内容を総合して行います。

(1) 選抜期日・時間割

選 抜 期 日	時 間 割	
令和2年11月21日(土)	受 験 上 の 注 意 事 項 説 明	9 : 3 0 ~ 9 : 5 0
	小 論 文 (800字程度)	9 : 5 0 ~ 1 1 : 2 0
	面 接	1 2 : 3 0 ~ 1 8 : 0 0
令和2年11月22日(日)	面 接	1 0 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0

- (注) 1 当日、受験者ごとに、面接のための集合時刻およびおおよその開始時刻を指定します。
2 面接では、各学部で要求される基礎学力を問う質問を行うことがあります。
3 新型コロナウイルス感染症への対応(1ページ)を必ず確認してください。

(2) 試験会場

福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1 福井県立大学 永平寺キャンパス
(裏表紙裏面の地図をご覧ください。)

(3) 受験上の注意事項

- ① 受験者は、11月21日(土)午前9時30分までに指定された試験室に入室し、着席してください。面接の際は、当日指定された集合時刻までに、決められた受験者控室に集合し、待機してください。
- ② 当日は、受験票、筆記用具を必ず持参してください。受験票は、小論文実施時に、指示に従って、試験監督者が確認できるよう机の上に置いてください。
- ③ 小論文開始後は、30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、時間の延長は行いません。
- ④ 面接開始時刻に不在であった場合は、欠席したものとして取り扱います。
- ⑤ 小論文、面接のいずれか一方でも受けない方は、入学者選抜の対象から除きます。
- ⑥ 当日、受験票を忘れた方は、速やかに試験会場の試験本部で仮受験票の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続、成績開示の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ⑦ 小論文の時間中に使用を許可するものは、鉛筆またはシャープペンシル(読み取りやすい濃さのもの)、消しゴム、鉛筆削り(電動式を除く。)、時計(計時機能のみのもの)に限ります。
- ⑧ 和歌・格言等が印刷されている筆記具の使用は不可とします。また、英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。
- ⑨ 携帯電話等は、試験室に入る前にアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。なお、このことについては、試験室内においても、再度確認を行います。また、携帯電話等を時計代わりに使用することはできません。試験時間中に携帯電話等を操作した場合、「不正行為」とみなしますので注意してください。
- ⑩ 試験会場では昼食の販売を行いませんので、弁当を持参してください。
- ⑪ 事前に試験会場の下見ができますが、建物内には立ち入らないでください。
- ⑫ その他必要が生じた場合には、受験票返送の際に通知します。

5 配 点

・経済学部、看護福祉学部

小論文	面接（調査書、自己推薦書を含む。）	合計
100	100	200

・生物資源学部、海洋生物資源学部

小論文	面接	調査書	自己推薦書	合計
50	50	50	50	200

6 出 願 手 続

(1) 出願期間 令和2年11月2日（月）～11月10日（火）（当日消印有効）

(2) 出願方法

- ① 出願書類を志願者ごとに所定の出願用封筒に入れた上で、**出身高等学校長がとりまとめ、一括して提出してください。**
- ② 出願は、**書留速達扱いの郵送**または**直接持参**によってください。直接持参の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。土曜日、日曜日および祝日は受け付けません。
- ③ 郵送による場合には、高等学校名および住所を明記した上、必ず封筒表面に「**学校推薦型選抜出願書類〇名分在中**」と朱書してください。

(3) 出 願 先 福井県立大学入学試験本部（入試企画室）

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

(4) 出願書類

出 願 に 必 要 な 書 類		作 成 方 法
A 票	志願票（原 票）	23ページの記入例を参照の上、必要事項をもれなく記入してください。出願においては、第1志望のみとします。第2志望は認められません。 「写真貼付欄」には、縦4cm×横3cmの写真（正面上半身無帽、背景なし、出願前3ヵ月以内に単身で撮影したもの）の裏面に志望学科、氏名を記入し、はがれないように全面をのり付けしてください。
B 票	志願票（電算処理票）	24～25ページの記入例および記入方法を参照の上、必要事項をもれなく記入してください。
C 票	写 真 票	26ページの記入例を参照の上、必要事項をもれなく記入してください。 「写真貼付欄」には、志願票と同じ写真を、はがれないように全面をのり付けしてください。

D 票	受 験 票	26ページの記入例を参照の上、必要事項をもれなく記入してください。
入 学 検 定 料		<p>17,000円を、同封の[E票]「振込依頼書・振込受取書・検定料振込受付証明書」(必要事項を記入したもの)により、必ず金融機関の窓口で納入してください。(郵便局、ATM、インターネット、コンビニエンスストアを除く)</p> <p>「検定料振込受付証明書」に金融機関の「振込受付印」が押印されていることを確認の上、[A票]志願票(原票)の所定の欄に、はがれないように全面をのり付けしてください。</p> <p>なお、検定料は令和2年10月21日(水)～11月10日(火)の金融機関窓口受付終了時刻までに振り込んでください。</p> <p>※ 納入済みの入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>① 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった、または出願が受理されなかった)場合</p> <p>② 検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>《返還請求の方法》</p> <p>「検定料振込受付証明書」を添付の上、検定料返還請求書を福井県立大学財務課まで郵送してください。期限・請求書様式など詳細は本学ホームページ(https://www.fpu.ac.jp)をご覧ください。</p>
調 査 書		<p>出身高等学校長が文部科学省所定の様式により作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>※ 被災その他の理由で、調査書が発行されない場合は、成績証明書等の成績を証明する書類、もしくは成績証明書発行不能証明書等、成績を証明できない旨の証明書を提出してください。</p>
11ページの《別表》に示す学術大会等において所定の選考基準を満たしたことを証明する資料		<p>※【理数科目を重視する学校推薦型選抜】の区分により、海洋生物資源学部海洋生物資源学科に推薦を受ける方のみ提出してください。</p>
F 票	推 薦 書	<p>出身高等学校長が所定の様式により作成し、厳封したものを提出してください。</p> <p>※ 推薦書は、本学ホームページ(https://www.fpu.ac.jp)よりダウンロードした様式に、データを入力し、印刷したものを提出することができます。</p>
G 票	自 己 推 薦 書	<p>所定の様式に、自筆で記入してください。</p>
H 票	出 願 用 封 筒	<p>「志願者氏名」欄、「高等学校」欄に必ず記入してください。</p> <p>当該高等学校の推薦する者が1名のみで、郵送により出願する場合は、この封筒を使用し、必ず書留速達扱いにしてください。</p>

※ 福井県外の高等学校から推薦を受ける方は、次のI票またはJ票いずれか該当するものを添付してください。(水産系の高等学校または水産系の学科を置く高等学校および【理数科目を重視する学校推薦型選抜】の区分により、海洋生物資源学部海洋生物資源学科に推薦を受ける方を除きます。)

I 票	住民票記載事項証明書 (本人用)	本人が福井県内に住所を有している場合に提出してください。 当該市町長の証明のないものは無効です。
J 票	住民票記載事項証明書 (保護者用)	保護者のみが福井県内に住所を有している場合に提出してください。 当該市町長の証明のないものは無効です。

(注) A票～J票の各書類は、本冊子に同封されているものです。

(5) 障害を有する入学志願者との事前相談

障害を有する等、受験上および修学上の配慮を必要とする可能性のある入学志願者は、出願の前にあらかじめ福井県立大学入学試験本部(入試企画室)まで連絡し、相談してください。

相談の内容によっては、本学の試験までに対応できず、十分な配慮による受験ができない場合がありますので、なるべく早く相談してください。

- ①相談の時期 令和2年10月21日(水)まで
- ②相談の方法 相談書(様式は自由で、健康診断書等必要書類を添付したもの)を提出してください。必要な場合は、本学において志願者またはその立場を代弁できる関係者等との面談を行います。
- ③連絡先 福井県立大学入学試験本部(入試企画室)
〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
TEL 0776-68-8297
FAX 0776-61-6012

(6) 出願手続上の注意事項

- ① 国公立大学(ただし、独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。)の学校推薦型選抜(大学入学共通テストを課す場合、課さない場合の双方を含みます。)へ出願することができるのは、1つの大学・学部に限ります。
※ 独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部については、公立大学協会ホームページ(<http://www.kodaikyo.org/>)を確認してください。
- ② 本学に出願できるのは、1つの学科のみです。また、本学の総合型選抜に出願した者は学校推薦型選抜に出願できません。
- ③ 必要な書類がすべてそろっていない場合には受付できませんので、出願の際に十分確認してください。また、郵送の場合は、出願期間最終日までの消印があるものに限り有効とします。
- ④ 入学許可の後であっても、出願書類の記載と相違する事実が発見された場合には、入学を取り消すことがあります。
- ⑤ 出願受付後には、出願事項の変更は認めません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合には、福井県立大学入学試験本部(入試企画室)まで連絡してください。
- ⑥ 受験票は、高等学校を通じて返送します。11月16日(月)までに受験票が届かない場合は、福井県立大学入学試験本部(入試企画室)までお問い合わせください。
- ⑦ 一度受付をした出願書類は、理由のいかんを問わず返却しません。

◇不測の事態が発生した場合の諸連絡◇

不測の事態により、試験日程や選抜内容など募集要項の内容に変更が生じた場合は、本学ホームページ等でお知らせしますので、出願前や受験前は特にご注意ください。

- ・ホームページアドレス <https://www.fpu.ac.jp>
- ・連絡窓口 福井県立大学入学試験本部（入試企画室） TEL 0776-68-8297

(7) 調査書の記入について

本学ならびに学部・学科の入学受入方針に照らし、高等学校長は、特に推薦できる生徒については、その旨を調査書の「備考」欄に記入してください。

7 合格発表

(1) 発表期日 令和2年12月1日（火） 午前10時

(2) 発表方法

出身高等学校長に対しては合格者名を通知し、合格者に対しては合格通知書を送付します。

また、合格者の受験番号を本学のホームページに掲載します。ホームページのアドレスは、<https://www.fpu.ac.jp> です。ただし、これは参考情報ですので、合否の合格者に送付する合格通知書で行ってください。

なお、電話等による問い合わせには応じません。

8 成績の開示

本学の受験者本人に限って、個人成績（調査書を含みます。）を開示します。

希望者は、次により申し込んでください。

(1) 令和3年度入学試験成績開示の申込期間

令和3年4月23日（金）から令和3年5月24日（月）まで

(2) 申込者 受験者本人に限ります（代理人は不可）。

(3) 申込先 福井県立大学入学試験本部（入試企画室）

(4) 申込方法

【窓口での申込】

- ・本学受験票を持参の上、所定の「入学試験成績開示申込書」により申し込んでください。

【郵便での申込】

- ・次の1～3を同封して申込期間内に到着するよう郵送してください。
- ・申込後1月程度にて受験者本人あて書留郵便で送付（受験票も返却）します。
 - 1 所定の「入学試験成績開示申込書」
 - 2 受験票（本人確認のため使用・コピー不可）
 - 3 返信用封筒

※1 返信用封筒の大きさ：長型3号

※2 郵便番号、住所、あて名を記載し、切手519円分を貼り付けてください。

(5) 開示の内容

- ① 個人成績 小論文・面接等ごとの点数および総合点
- ② 個人の調査書（「指導上参考となる諸事項」欄および「備考」欄を除く。）

(6) 開示方法

- ・ 閲覧または郵送により開示します。
- ・ 郵送による開示は、受験者本人あて書留郵便で送付（受験票も同封し返却）します。

(7) 問い合わせ先 福井県立大学入学試験本部（入試企画室）

福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

TEL 0776-68-8297

9 その他の注意事項

- (1) 本学の学校推薦型選抜の合格者は、他の国公立大学・学部に出願しても受験することはできません。たとえ受験しても無効になります。ただし、特別の事情により入学手続完了後に入学辞退願を提出し入学辞退を許可された場合は、この限りではありません。
- (2) 本学の学校推薦型選抜に合格しなかった者または合格者のうち入学辞退を許可された者は、国公立大学のうち、「前期日程」で試験を実施する大学・学部（本学を含みます。）から1つ、「後期日程」で試験を実施する大学・学部（本学を含みます。）から1つ、および「公立大学中期日程」で試験を実施する大学・学部から1つの合計3つの大学・学部（本学を含みます。）の個別学力検査等に出願することができます。ただし、当該大学・学部の指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していることが必要です。

Ⅱ 入学手続、初年度納付金等

1 入学手続

(1) 入学手続期間 令和2年12月2日(水)～12月8日(火)(必着)

(2) 入学手続方法

- ① 入学手続に必要な書類は、合格発表後に郵送します。
- ② 書類提出は、**書留速達扱いの郵送**または**直接持参**によってください。直接持参の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとします。土曜日および日曜日は受け付けません。
- ③ 入学手続を完了した方には、入学許可証を郵送します。

(3) 入学手続先 福井県立大学入試企画室

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

(4) 入学手続上の注意事項

- ① 学校推薦型選抜の合格者が入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、学校推薦型選抜合格者としての権利を失います。この場合、他の国公立大学・学部に出願しても受験することはできません。たとえ受験しても無効になります。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合には受付できませんので、書類の提出の際に、十分確認してください。
- ③ 入学手続期間を過ぎて到着したものは受け付けません。郵送の場合には、所要日数を十分に考慮して発送してください。
- ④ 一度受付をした入学手続書類および入学料は、理由のいかんを問わず返却しません。

(5) 入学前学習について

海洋生物資源学部では、大学での教育をさらに充実させる取り組みの一つとして、学校推薦型選抜の合格者に対し、入学前学習プログラムを実施しています(入学手続の完了後、「入学前学習プログラム」の案内を郵送します)。

(6) 学校推薦型選抜辞退

合格者は、原則として入学辞退は認められません。特別の事情により入学辞退を希望する者は、令和3年1月4日(月)までに「学校推薦型選抜辞退願」(様式は問いません)を出身学校長と連署の上、本学学長あて提出し、その許可を得なければなりません。

2 初年度納付金

(1) 入学料

入学手続の際に、下記の金額の入学料を納付する必要があります。

- ① 福井県内の者 188,000円
- ② 上記以外の者 282,000円

(注) 福井県内の者とは、以下のいずれかに該当する者のことをいいます。

- ア 令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に住所を有する者
- イ 令和2年4月1日以前から引き続き福井県内に1親等の親族が住所を有する者
- ウ 理事長がこれらに準ずると認める者

(2) 授業料

- ① 金額 年額535,800円(令和2年度実績。なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。)
- ② 納付方法 前期(納付期限:令和3年5月12日)、後期(同11月12日)の2回に分けて徴収します。

(3) その他の納付金(入学時に納めていただきますが、入学許可とは関係ありません。)

- ① 後援会費 50,000円(4年間)
- ② 学生保険

学部・学科		金額(4年間)
経	済 学 部	4,660円
生	物 資 源 学 部	4,660円
海	洋 生 物 資 源 学 部	4,660円
看護福祉学部	看護学科	5,370円
	社会福祉学科	4,660円

(金額は令和2年度の実績。金額が変更される場合もあります。)

3 その他

(1) 入学料・授業料の免除制度

国が行う高等教育の修学支援新制度の対象大学となっています。本制度の対象者として認定された場合、入学料・授業料が全部または一部免除されます。

(2) 奨学金

◆奨学金の種類

奨学金には、日本学生支援機構と、その他地方公共団体や公益法人・営利法人等が行うものがあります。

奨学金には、貸与(返還義務のあるもの)と給付(返還義務のないもの)があり、多くの奨学金は貸与奨学金です。卒業後には、返還義務が生じますので、注意してください。

◆日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構では、成績(学業)の優れた学生で、経済的理由により修学が困難な者に対し、奨学金の給付、貸与を行っています。

<種類>

・給付奨学金

授業料免除と併せて給付される、返還義務のない奨学金です。ただし、学業成績の不振等がある場合は、返還を求められる場合もあります。(大学院、留学生は対象外です。)

・ 第一種奨学金

返還義務のある無利子の奨学金です。給付奨学金と併給する場合は、月額に制限が設けられます。

・ 第二種奨学金

返還義務のある有利子の奨学金です。給付、第一種奨学金との併給も可能です。

(3) 麻疹（はしか）、風疹（三日はしか）の流行予防の手続き

学内での麻疹（はしか）、風疹（三日はしか）の感染症の流行を防止するため、入学手続きの際にこの予防接種の記録を提出していただきます。2回以上の接種記録がない場合などは、予防接種を受けていただくことがあります。

(4) 下宿・アパート

下宿・アパートについては、本学事務局就職・生活支援課で情報の提供を行います。

福井県立大学就職・生活支援課 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

TEL 0776-61-6000（内線1028）

なお、情報の提供は、一般選抜前期日程の合格発表後に行います。

(5) 受験の際の宿泊について

旅館・ホテルのあっせんを希望する方は、下記にお問い合わせください。

福井市旅館業協同組合 TEL 0776-22-7449

〒910-0005 福井市大手3丁目7-1 福井県織協ビル 712号室

Ⅲ 出願書類記入要領

- 記入誤りをした場合は、二重線で消して余白などに記入してください。
余白がない場合は修正液等で消して上から記入してください。

A票 志願票（原票）記入例

福井県立大学令和3年度学校推薦型選抜

A票 志願票（原票）

受験番号 ※ 何も記入しないでください。

いずれか該当する項目に○印をつけてください。

出願区分	<input checked="" type="radio"/> 1. 出身学科を指定しない学校推薦型選抜	<input type="radio"/> 2. 出身学科を指定する学校推薦型選抜	<input type="radio"/> 3. 理数科目を重視する学校推薦型選抜
------	---	---	---

写真貼付欄
写真を貼付してください。

志望学科	経済	学部	経済	学科
------	----	----	----	----

(フリガナ) 志願者氏名	ケンダイ イチロウ 県大 一郎 <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	生年月日	平成 14年 4月 2日
住所	〒 910 - 1234 福井 都道府県 <input checked="" type="radio"/> 福井市大学町2の34 大学アパート 102号室	電話番号	090 - 1111 - 2222
(フリガナ) 保護者氏名	ケンダイ カズオ 県大 和雄	電話番号	090 - 3333 - 4444
保護者住所	〒 - 都道府県	電話番号	090 - 3333 - 4444

上の住所と同じ場合には、何も記入しないでください。

合格通知書の送付や緊急時の連絡が確実にできる住所、電話番号を記入してください。

〇〇方、△△アパート△号室など正確に記入してください。

出身学校	福井 都道府県 <input checked="" type="radio"/> 公立 <input type="radio"/> 国立 <input type="radio"/> 私立 大手 高等学校 普通 科 卒業見込 <input checked="" type="radio"/> 全日制 <input type="radio"/> 定時制 <input type="radio"/> 通信制
------	--

高等学校名、学科名、課程を記入してください。

検定料振込受付証明書 (貼付欄)

○金融機関の振込受付印のないものは受付できません。

○全面にのり付けしてください。

検定料振込受付証明書（金融機関の振込受付印の押印されたもの）を、枠内に貼ってください。

(裏面の「記入上の注意」を参照してください。)

福井県立大学令和3年度学校推薦型選抜

B票 志願票（電算処理票）

わかりやすい文字ではっきりと記入してください。

志望学科

第1志望の学科を「1～7」から選び、□に数字を記入してください。

1: 経済学科 2: 経営学科 3: 生物資源学科 4: 海洋生物資源学科 5: 看護学科 6: 社会福祉学科 7: 創造農学科

※

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

何も記入
しないで
ください。

カナ氏名

ケ	ン	タ	イ	イ	チ	ロ	ウ												
---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

漢字氏名

県	大			一	郎														
---	---	--	--	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

性別

1: 男 2: 女

1

生年月日（和暦）

元号	年	月	日
H	14	04	02

連絡先電話番号

0	9	0	-	1	1	1	1	-	2	2	2	2							
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--

県内外区分

1: 県内 2: 県外

1

郵便番号

9	1	0	-	1	2	3	4												
---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

漢字住所（都道府県）

福	井	県																	
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

漢字住所（郡・市・区・町村）

福	井	市																	
---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

漢字住所（地名・番地）

大	学	町	2	-	3	4														

漢字住所（団地・棟・号・方等）

大	学	ア	ハ	°	一	ト	1	0	2										
号	室																		

※高等学校等コード

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

卒業年月（和暦）

元号	年	月
R	03	03

漢字高等学校等名

大	手	高	等	学	校														
---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

何も記入
しないで
ください。

志願票（原票）の
「住所」欄に記入
したものと同一住
所を正確に記入し
てください。

B票 志願票（電算処理票）記入方法

黒または青のボールペンを使用し、以下の指示に従って、各欄を正確に記入してください。
※印の欄には、何も記入しないでください。

「志望学科」欄 …… 第1志望の学科を「1～7」から選び、□に数字を記入してください。

「カナ氏名」欄 …… 氏名をカタカナで、左詰に記入してください。
濁点・半濁点には1文字分を使用し、姓・名の間は1文字分空けてください。

「漢字氏名」欄 …… 氏名を漢字で、左詰に記入してください。
姓・名の間は1文字分空けてください。

「性別」欄 …… 男性は「1」、女性は「2」を記入してください。

「生年月日（和暦）」欄 …… 生年月日を、和暦で記入してください。
月、日が1桁の場合には、それぞれ頭に「0」（ゼロ）をつけてください。

「連絡先電話番号」欄 …… 間に「-」（ハイフン）をつけて、左詰に記入してください。

「県内県外区分」欄 …… 福井県内の方は「1」、それ以外の方は「2」を記入してください。
なお、『福井県内の方』とは、以下のいずれかに該当する方です。
（ア）令和2年4月1日以前から福井県内に住所を有する方
（イ）令和2年4月1日以前から福井県内に1親等の親族が住所を有する方
（ウ）理事長がこれらに準ずると認める方

「郵便番号」欄 …… 郵便番号（7桁）を「-」（ハイフン）の両側に左詰に記入してください。

「漢字住所（都道府県）」欄 …… 都道府県名を漢字で、左詰に記入してください。

「漢字住所（郡・市・区・町村）」欄
…………… 郡・市・区・町村名のみを漢字で、左詰に記入してください。

「漢字住所（地名・番地）」欄
…………… 上記の郡・市・区・町村名に続く地名・番地を漢字で、左詰に記入してください。
番地は、次のように記入してください。
（記入例）1丁目2番地34号の場合

1	-	2	-	3	4	
---	---	---	---	---	---	--

「漢字住所（団地・棟・号・方等）」欄
…………… 団地・アパート・マンション等にお住まいの方は、漢字で、左詰に記入してください。

「漢字高等学校等名」欄 …… 出身学校名を漢字で、左詰に記入してください。

C票 写真票

記入例

D票 受験票

福井県立大学令和3年度学校推薦型選抜

C票 写真票

受験番号	※	
志望学科	経済	学部
	経済	学科
(フリガナ)	ケンダイ 仔叻	
氏名	県大 一郎 <small>男</small>	
生年月日	平成14年 4月 2日	

何も記入しないでください。

志望学部・学科、氏名、生年月日を記入してください。

写真を貼付してください。

写真貼付欄

福井県立大学

(注) ※印の欄は記入しないでください。

福井県立大学令和3年度学校推薦型選抜

D票 受験票

受験番号	※	
志望学科	経済	学部
	経済	学科
(フリガナ)	ケンダイ 仔叻	
氏名	県大 一郎 <small>男</small>	
生年月日	平成14年 4月 2日	
試験会場	福井県永平寺町 松岡兼定島4-1-1 福井県立大学 永平寺キャンパス	

何も記入しないでください。

志望学部・学科、氏名、生年月日を記入してください。

選抜期日：令和2年11月21日(土)
～11月22日(日)

福井県立大学

(注) ※印の欄は記入しないでください。

IV 個人情報の取扱いについて

福井県立大学では、個人情報について以下のとおり取扱いますので、予めご了承ください。

- 1 個人情報は、「福井県個人情報保護条例」および「公立大学法人福井県立大学個人情報保護取扱規程」に基づき、適正に処理します。法令等の規定に基づくときなどの例外を除き、原則として、第三者に提供することはありません。
- 2 本学への出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所およびその他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査、研究、分析、および⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- 3 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は、入学者選抜方法等における調査、研究、分析を行うために利用します。
- 4 各種業務での利用においては、一部の業務を外部委託することがあります。この場合、受託者には個人情報の保護が義務づけられます。
- 5 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、学校推薦型選抜の合格および入学手続に関する情報を、独立行政法人大学入試センターおよび併願先の国公立大学に通知します。
- 6 本学への出願に当たってお知らせいただいた個人情報および入試成績は、入学者のみ入学後の、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

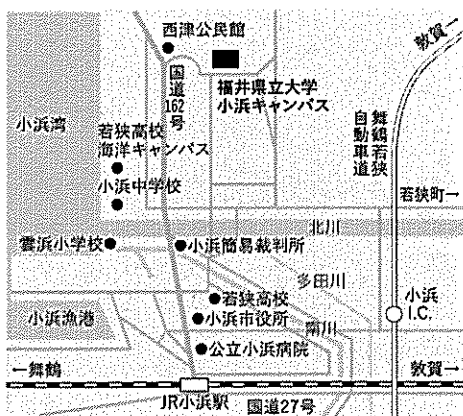


【永平寺キャンパス】 Eiheiji campus

〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1
 TEL:0776-61-6000(代)
 FAX:0776-61-6012

map&access

- 京福バス
 - ・JR福井駅西口バスターミナル
 - 大学病院線「県立大学」下車(所要時間約40分)
- 乗用車
 - ・JR福井駅より約20分
 - ・北陸自動車道 福井北I.C.より約10分

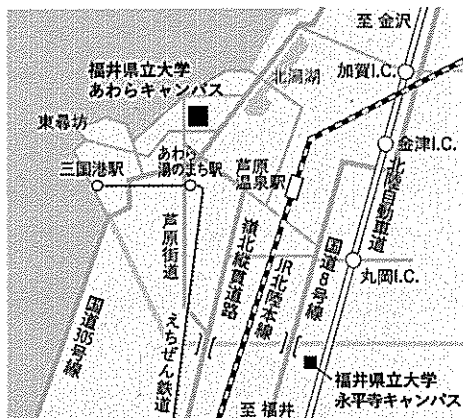


【小浜キャンパス】 Obama campus

〒917-0003 福井県小浜市学園町1-1
 TEL:0770-52-6300(代)
 FAX:0770-52-6003

map&access

- コミュニティバス
 - ・JR小浜駅よりバス(あいあいバス)で約10分、
 - 「西津公民館前」下車徒歩15分
- 乗用車
 - ・JR小浜駅より約10分
 - ・舞鶴若狭自動車道 小浜I.C.より約5分



【あわらキャンパス】 Awara campus

〒910-4103 福井県あわら市二面88-1
 TEL:0776-77-1443(代)
 FAX:0776-77-1448

map&access

- 乗用車
 - ・永平寺キャンパスより約40分
 - ・北陸自動車道 金津I.C.より約15分

裏表紙のロゴマークについて

- ・福井県の鳥で、学章にも使用されている“つぐみ”をイラスト化し、くちばしには県立大学の木である、白樺をくわえています。
- ・福井県立大学が「実は百年」であることを、県民の皆様にご理解いただき、次の100年に向かって、“羽ばたく”願いを込めています。

※本学は、1920年に設置された福井県農業試験場内の〔福井県農業技術員養成課程〕が始まりです。



問い合わせ・事前相談・募集要項請求先

福井県立大学 入学試験本部（入試企画室）

〒910-1195

福井県永平寺町松岡兼定島4-1-1

Tel 0776-68-8297

Fax 0776-61-6012

Eメール nyusi@fpu.ac.jp

電話受付時間：午前9時～午後5時

（土曜・日曜・祝日、年末年始を除く）